

平成 30 年 7 月 20 日開催『意思決定支援を学ぶ』

～現場での実際の事例をもとに倫理的視点から意思決定支援を学びませんか～

《アンケート結果》

I、「意思決定支援」について知っていましたか

具体的なお意見

- ・言葉自体をあまり知りませんでした。
- ・「意思決定を支援する」ということは知っていたが、具体的にはきちんと知らなかった。
- ・今の日本では自分の終末期の治療決定は他者に任せがちであり、考えたがらない。
元気な時に問いかけても、その時に問いかけても怒られてしまう。どうすればよいのか日々悩んでしまう。
- ・在宅に戻って医療と介護、ご家族（ご本人）の意思疎通が一方向であったり、意思が分からない事がある。
NSとして担会の積極的提案も必要だと思いました。

II、今まで「意思決定支援」に関する研修に参加したことはありますか

具体的なお意見

- ・区役所で先日受けました。
- ・何回受講しても解決出来ません。
- ・前回の研修内容を日々の業務に擦り合わせて理解できるよう練習中。
- ・様々な職種、状況での意見をグループの中で聞く事が出来、参加して良かった。
- ・認知症の病棟を担当しており意思決定が難しい方に対してどのような支援をしていったらよいのか、とても悩むことが多く参加したいと思った。
- ・アサーティブなコミュニケーション、大切なのだなと改めて感じました。

III、本日の「意思決定支援を学ぶ」について、講義内容はいかがでしたか

具体的なお意見

- ・とても分かりやすく講演頂きました。グループワークでは様々な方の考えや意見を聞く事が出来、良かったです。
- ・ご本人の意向を代弁できる事が医療従事者としても大切だという事がわかった。
- ・正解のない倫理の話、関わる場面、悩む場面もあり大変学びになりました。
- ・どのように患者様、ご利用者様の尊厳と意思決定を倫理的に守っていくのかを良く考えさせられた内容だった。専門職としてどのような方向性を患者様の為に模索して、よりよい支援につなげられるのかをこれからも考えたい。
- ・ACPに看護的な考え？（生命医療倫理の四原則）が合わせての説明だったので、理解しにくく感じた（一部）。症例が在宅の方の方が分かりやすかったかもしれない（医療現場のお話だったような印象）。
- ・事例がとても分かりやすく、理解することが出来ました。
- ・四分割表を使ってカンファレンスを行うと参加者の気付きを促し意見が出しやすかったと感じた。
- ・もっと四分割法を用いた事例を提示して欲しかった。
- ・みなさんの積極的なディスカッションが非常に勉強になりました。
- ・ご本人の本心、意思をまず知ることが大事。家族が決める場合でも「本人ならこうして欲しいと思う」という気持ちを代弁することが大事だということが分かった。周囲はそのご本人の意思を支援していく。
- ・勉強不足でしたので良い機会になりました。
- ・具体的なプロセスや考え方を知ることが出来、今後の現場の中で活用しながら関わっていきたいと思いました。ACPの考え方も現場で共有したいと思います。
- ・ご本人の意思を尊重するという事は簡単そうでとても難しく、何を望んでいるかはきちんとアセスメントしなくてはいけないと感じた。